

知的財産 支援活動だより

特集

**目利きの弁理士による
キラリと輝く発明発掘プロジェクトについて**



トピックス
9月までの支援活動（関西会・九州会・知的財産支援センター）

目次

特集 目利きの弁理士によるキラリと輝く発明発掘プロジェクトについて

知的財産支援センター 副センター長 石原進介 4

1. 9月までの支援活動

関西会

「知的財産特別授業」岸和田市立消費生活センター

関西会 知財授業担当 中野賢太 6

「知的財産特別授業」の紹介 シン・しが学校支援メニューフェア

関西会 知財授業担当 岸本忠昭 7

「知的財産特別授業」大阪市立矢田小学校

関西会 知財授業担当 神木祐栄 8

九州会

令和6年度 県商連職員研修

九州会 宮本美紀 9

知的財産データ活用セミナー

九州会 下田正寛 10

知的財産支援センター

「高専セミナー」久留米工業高等専門学校

知的財産支援センター第3事業部 上田精一 11

「高専セミナー」沼津工業高等専門学校

知的財産支援センター第3事業部 佐藤大輔 12

「高専セミナー」新居浜工業高等専門学校

知的財産支援センター第3事業部 佐久間顕治 13

「高専セミナー」津山工業高等専門学校

知的財産支援センター第3事業部 野呂亮仁 14

「高専セミナー」津山工業高等専門学校

知的財産支援センター第3事業部 増田佳文 15

「高専セミナー」舞鶴工業高等専門学校	知的財産支援センター第3事業部	城田晴栄	16
「高専セミナー」熊本高等専門学校	知的財産支援センター第3事業部	岡村祥有	17
「高専セミナー」大島商船高等専門学校	知的財産支援センター第3事業部	野崎洋平	18
「高専セミナー」弓削商船高等専門学校	知的財産支援センター第3事業部	瀧川彰人	19
「高専セミナー」苫小牧工業高等専門学校	知的財産支援センター第3事業部	安永喜勝	20
「高専セミナー」鳥羽商船高等専門学校	知的財産支援センター第3事業部	丹生哲治	21
「高専セミナー」呉工業高等専門学校	知的財産支援センター第3事業部	西山忠克	22
「高専セミナー」香川高等専門学校	知的財産支援センター第3事業部	佐久間顕治	23
2. 支援活動一覧表（10月分）			24

本日よりWebでも閲覧できます。日本弁理士会ホームページ (<https://www.jpaa.or.jp/>)

特集 目利きの弁理士による キラリと輝く発明発掘プロジェクトについて

知的財産支援センター 副センター長 石原進介

日本弁理士会の附属機関である知的財産支援センターでは、今年度より、新規事業として「目利きの弁理士によるキラリと輝く発明発掘プロジェクト」をスタートすることになった。事業化するにあたり、運用部分についてはまだ試行錯誤している部分もあるが、プロジェクトのアウトラインをご紹介したい。

1. プロジェクトの概要

「目利きの弁理士によるキラリと輝く発明発掘プロジェクト」は、

コンテスト出場作品 × 目利きの弁理士 = 凄い特許

をコンセプトに、独立行政法人国立高等専門学校機構（以下、国立高専機構）（又は全国高等専門学校連合会）が開催する高専生を対象とする各種コンテスト出場作品に対して、出願支援対象案件に選ばれたものについて、目利きの弁理士が発明発掘（コンテストに出た発明を深掘）して、特許権を取得する権利化までの支援を弁理士が行うというプロジェクトである。尚、特許取得に関する費用は、先行技術調査・出願から登録まで、日本弁理士会が負担する。

2. 背景と目的

平成25年3月14日、日本弁理士会と国立高専機構との間で、「知的財産教育の充実及び知的財産の活用のための協力に関する協定」（以下、知財協定）が締結された。この知財協定に基づき、国立高専機構の協力のもと、全国の国立高専を対象として、エンタメセミナー（以下、セミナー）を知的財産支援センター第3事業部が主幹となって、企画、開催している。

前述した日本弁理士会が提供するエンタメセミナーは、高専における社会実装のための教育の一翼を担っているものと自負している。また、パテントコンテスト・デザインコンテストでは、高専生を含む受賞者に対して教育上の見地から、出願体験を提供しており、高専で生まれた発明を保護することに一定の寄与をしている。

一方で、国立高専機構高等専門学校（又は全国高等専門学校連合会）では、各種の様々なコンテストを毎年開催している。例えば毎年開催されているコンテストとしては以下のようなものがある。



- ・全国高等専門学校ロボットコンテスト
- ・全国高等専門学校プログラミングコンテスト
- ・全国高等専門学校デザインコンペティション
- ・高専 GIRS SDG s × Technology Contest
- ・高専防災減災コンテスト
- ・高専ワイヤレステックコンテスト
- ・全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト



上記コンテストは、発明することや物づくりの楽しさ或いは実際の商品づくりの大変などを学べる場であり、全国規模の教育イベントである。このような新しい発想をしたり、物づくりの素晴らしさを体験したりする全国規模の教育イベントに、アイデアを守る弁理士が関与することで次のようなメリットがある。



- コンテストの出場作品には必ず発明が隠れているが、それを弁理士が見つけたして出願代理を行い、特許化することで、出願支援対象となった案件の高専生は、自分が考えた新しいアイデアが特許になるということを学べる。
- 特許出願にあたっては、誰が発明者であるのかという発明者の認定も必要になってくるが、出願支援対象となった案件の高専生は発明者の認定も学べる。
- 特許出願は出願をすれば特許になるわけではない。拒絶理由通知が出される可能性は高く、拒絶理由通知にうまく応答できなければ権利化は望めない。キラリと輝く発明を見つけ出して、権利化することができるのは、プロである弁理士のみであり、出願支援対象となった案件の高専生にとって、プロの技を体験でき、社会に出ての経験を学べるチャンスである。
- 1年以内であれば新規性喪失の例外手続きを行うことで、特許が取得できることを出願支援対象となった案件の高専生は学ぶことができる。

3. 応募から権利化までのフローについて

出場したコンテストに応じて設定された締切日までに申請書類を作成の上、各高専の事務窓口まで提出する → 国立高専機構から日本弁理士会への推薦 → 発明発掘作業（含む目利きの弁理士によるヒアリング） → 日本弁理士会での出願支援対象案件選定 → 弁理士が出願代理し、出願から権利化までを行う。また、権利化にあたっては、特許庁の早期審査制度を活用する。

4. 今後について

今年度は、令和5年度開催のコンテストを対象として、まずはトライアルとして、出願支援対象案件を1～2件程度選定し、出願から権利化まで行うことを目指している。令和6年度のコンテストに対する出願支援としては、出願支援対象案件を5件程度は出願支援できる予算を見込んでおり、今後、目利きの弁理士によるキラリと輝く発明発掘による出願支援が増えることを期待している。

1

9月までの支援活動

関西会

「知的財産特別授業」岸和田市立消費生活センター

1. 日 時：令和6年8月5日（月）13：30～15：00
2. 場 所：opsol 福祉総合センター
3. 名 称：「知的財産特別授業」
4. 内 容：発明工作授業（回転台）
5. 対 象：小学3～6年生 18名
6. 講 師：松山徳子、中野賢太
7. コメント：

岸和田市立消費生活センターの夏休み子ども向けイベントの一環で、発明工作授業「回転台」を行いました。小学3～6年生の児童計18名が参加しました。岸和田市は大阪府南部に位置する城下町で、だんじり祭りでも全国的に有名です。明るく活気のある地域だけに、楽しい授業になりそうだと期待していきました。

初めに松山徳子会員が生徒達に弁理士や知的財産について説明しました。携帯電話を題材に、一つの製品に色々な知的財産が有ること、知的財産は守り育てていかなくてはいけないことを説明しました。

工作はセロテープを置く回転台を、お皿、ビー玉、工作用紙で作ろうというものです。子どもたちみんな積極的に取り組んでくれました。お皿の中に入れた、ビー玉の上から、フタ部分が滑らないようにするため、子どもたちは様々な工夫をしてくれました。フタの径をどうするかは少し難しかったようで、一回目に作ったものは、うまくいかない場合が多かったようです。

松山徳子会員、中野賢太会員に加え、消費生活センターの担当者2名にもお手伝いいただき、子どもたちの工作の様子を見て回りました。うまくいかなかった作品を見ながら、問題点と改善点を一緒に考え、それを活かして、もっといい作品にならないか考えました。市販品に近い作品を一回で作る子もいましたし、他の子の作品を見ながら、何度も工夫をかさね、自分なりの作品を作る子もいました。工作の間には、子供たちの作品の紹介を何回か行い、工作の時間は終了しました。最後に、エジソンのクイズを全員で行い、大阪・関西万博の紹介を行いました。

個人的な話ですが、会場（opsol 福祉総合センター）は事務所からほど近く、弁理士として地元で貢献したいと思い、講師をお引き受けました。今回の知財授業が、子どもたちの刺激となり、地域活性化の一助になるなら大変嬉しいです。



発想力豊かな児童達と工作を行う講師

関西会知財授業担当 中野賢太

「知的財産特別授業」の紹介 シン・しが学校支援メニューフェア

1. 日 時：令和6年8月21日（水）13：20～15：40
2. 場 所：ピアザ淡海
3. 主 催：滋賀県教育委員会
4. 趣 旨：滋賀県教育委員会では、生涯学習課内に「しが学校支援センター」を設置し、専門的な知識や技能を有する地域の人々や企業・団体・NPO等（以下、「支援者」という。）の方々に学校の行事や授業を支援していただく仕組みづくりを推進している。そこで、支援者と学校の連携を一層促進するため、「学校支援メニュー」に登録している支援者と県内教職員等が気軽に交流できる場を設け、コロナ禍以降の新たな連携の在り方についてともに考える機会を創出する。
5. 対 象：109名
 - ・ブース出展希望の「学校支援メニュー」支援者
 - ・県内小学校、中学校、県立特別支援学校・高等学校の教職員
 - ・県内幼稚園・保育園関係職員
 - ・市町教育委員会関係者
 - ・学校運営協議会関係者、地域学校協働本部関係者
 - ・社会教育士
6. 講 師：岸本忠昭、三方英美
7. コメント：

滋賀県の学校支援メニューフェアに参加し、日本弁理士会関西会の「知財財産特別授業（知財授業・発明工作）」を紹介してきました。この学校支援メニューフェアでは、教職員の現場の声を聞くことができ、また他団体の出前授業を知ることができることから、関西会にとっても有益な事業と思います。

いつもは教職員にチラシを配布するのが目的のようでしたが、コロナ明けの今年は、教職員側と支援者側とが対面して話ができるようにテーブルが配置され、教職員の方に「知的財産特別授業」を充分紹介することができ、滋賀県での今後の申込みが期待できる学校支援メニューフェアでした。また、このような取組みが近畿の他府県に展開されることを期待します。



出展の様子

関西会知財授業担当 岸本忠昭

「知的財産特別授業」大阪市立矢田小学校

1. 日 時：令和6年8月30日（金）10：35～11：20
2. 場 所：大阪市立矢田小学校
3. 名 称：「知的財産特別授業」
4. 内 容：小学知財授業（寸劇）
5. 対 象：6年生 1クラス 9名
6. 講 師：野呂亮仁、神木祐栄
7. コメント：

近鉄南大阪線矢田駅から徒歩約10分のところにある大阪市立矢田小学校を訪問し、小学6年生9名に知財授業（寸劇）を行ってきました。台風10号の影響で当日まで授業を行えるか心配しておりましたが当日は穏やかに晴れ、無事に授業を行うことができました。こちらの学校では、2017年から知財授業を開催させていただいており、先生方も内容をよくご存知でした。

児童の皆さんは「弁理士」という言葉を聞くのは初めてとのことでしたが、サラカップルやカタシャンボトルの問いかけには真剣に考え、面白いアイデアを出してくれました。また、肩ブレラについては、その実物を見る前に、先生にたすきを巻き付け、洗濯ばさみも上手く使い、両手が塞がった状態でも傘がさせることを示してくれました。こちらが思った以上に、様々なアイデアが生まれ、お友達同士でも楽しそうに話し合っていました。

今回は少人数での授業だったため、発明品の画鋏（プニョプニョピン）は全員に体験してもらいその効果を実感してもらいました。クイズも1問1問考え、正解を聞いては納得したり驚いたり、最初から最後まで興味を持って参加してくれたおかげで、私たちも楽しく授業を行うことができました。

最後に小学生の発明家の紹介もしました。今日の授業をきっかけに、今日参加して下さった生徒の皆さんも、これから様々なことを考え、面白いアイデアをどんどん出してほしいと思います。



興味津々の児童達に講義を行う講師

※「プニョプニョピン」はコクヨ株式会社の登録商標です。

関西会知財授業担当 神木祐栄

九州会

令和6年度 県商連職員研修『経営指導員等 特別コース I』並びに『中堅研修（入所3年以上、非管理職対象）』

1. 日 時：令和6年8月1日（木）、令和6年8月5日（月） 10：00～12：00
2. 場 所：熊本商工会議所 6階会議室
3. 対 象：経営改善普及事業等に従事する職員並びに中堅職員
4. 講 師：宮本美紀
5. 内 容：

「BCPにおける知財価値評価のすすめ」

本研修は特許庁、INPIT、日本弁理士会、日本商工会議所による四者連携協定における取組の一環として、熊本商工会議所から日本弁理士会九州会への依頼に応じた形で実施されました。同研修の目的は、「県内の商工会議所職員を対象として、業務に必要な知識を付与し、その資質の向上を図ることを目的とする」、とされており、対象者は必須で受講することになっているようです。

今回のテーマはBCPということで、会員の講座以外に、INPITによる「震災復興時の知財関連支援及び熊本窓口の紹介について」、中小機構アドバイザーによる「事業継続計画（BCP）の策定支援」、熊本県庁による「地域課題解決型企業支援補助金について」といった講座が同日に開催されました。

研修対象は、主に熊本商工会議所の経営指導員で、30代～50代の中堅職員が多い印象でした。8月1日には25名、8月5日には29名の職員の方の受講がありました。8月1日には日本弁理士会九州会から下田正寛会長、8月5日には九州経済産業局から中井要知的財産室長が立ち会われました。

研修内容は、研修講師（宮本美紀会員）が作成したスライドを用いて、BCPと知財との関連性、経営資源としての知財、BCPにおける弁理士の活用法といったBCPに知財を絡め、BCPにおいても知財の専門家である弁理士がお手伝いできる旨をお伝えするよういたしました。

受講者の方々は、大変熱心に講義を聞いておられ、途中で質問をされるなど積極的にご参加いただきました。

九州会 宮本美紀

知的財産データ活用セミナー

1. 日 時：第2回 令和6年8月21日（水）13：00～14：00、
第3回 令和6年9月11日（水）13：00～15：00
2. 会 場：福岡合同庁舎本館1階大会議室
3. 対 象：DX導入支援者、DX関連事業者 約100名
4. 内 容：

令和6年7月31日よりデータ戦略推進イニシアティブ事業「知財戦略データ活用セミナー」がスタートしました。この事業は、経済産業省が実施する令和6年度「中小企業等知的財産活動支援事業費補助金（中小企業知的財産支援事業）」で、公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）が幹事として実施する補助事業となります。

日本弁理士会九州会からは、第2回の前半の1時間を用いて、知的財産制度の概要と知財戦略の立案についてのアドバイスを、第3回の前半2時間を用いて、著作権の取り扱い、営業秘密の保護の側面での情報漏洩対策、製造物責任法、個人情報保護法についての考え方について解説しました。

また、セミナー内で、中小企業がDX化を進められない内的要因や、情報漏洩対策におけるリスクマネジメント、AI時代における技術者らが生き残るためのポイント、参考書籍の紹介等を行い、逆に法律の細かな話はありませんでした。

短い時間ではありましたが、ポイントを絞って解説したことと、他所では聞けない側面も知ることができたことなどから、大変好評でした。

九州会 下田正寛

知的財産支援センター

「高専セミナー」久留米工業高等専門学校

1. 日 時：令和6年6月11日 火曜日 14時40分～16時10分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：久留米工業高等専門学校
4. テーマ：概要編
5. 参加人数：45名
6. 内 容：

久留米工業高等専門学校にて概要編セミナーを開催しました。講義を行う正講師を遠坂啓太会員が担当し、運営委員を上田精一会員が担当しました。本セミナーは、「特許エンターテインメントセミナー概要編」に沿って行われました。パテントフォーマー物語では、学生担当のパートを複数の学生で担当し、積極的にその役割をこなしていました。

また、遠坂啓太会員からの質問にも積極的に答えていました。



知的財産支援センター第3事業部 上田精一

「高専セミナー」 沼津工業高等専門学校

1. 日 時：令和6年6月17日 月曜日 14時50分～16時20分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：沼津工業高等専門学校
4. テーマ：オリジナル編
5. 参加人数：約200名
6. 内 容：

正講師は阿出川豊会員、運営委員を佐藤大輔会員が担当し、高専側は物質工学科の藁科和之准教授が対応してくださった。受講者は、本科2年生の全学生を対象としている。

講義の内容は、まず、知的財産・知的財産権とは何かについて概略を説明した後、特許権、実用新案権、意匠権、商標権について、地元企業の事例や近年話題になった事例を交えて詳細に解説した。最後に、まとめとして特許要件（新規性、進歩性、先願）の説明と、弁理士について簡単な解説を加えた内容であった。

正講師が大教室を巡回しながら、その都度学生に質問をしていくスタイルで講義を行い、内容も学生が興味を持ちやすい事例を豊富に取り上げていたため、多くの学生が集中して講義を受けており、知財について真剣に学ぶ良い機会になったと思われる。

最後に短時間で質疑応答の時間を設けたところ、高専の教員より、正講師が弁理士になったきっかけについての質問があった。高専生の進路選択肢として、弁理士という職業に関心を持っている様子がうかがえた。



知的財産支援センター第3事業部 佐藤大輔

「高専セミナー」新居浜工業高等専門学校

1. 日 時：令和6年6月20日 木曜日 14時30分～16時00分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：新居浜工業高等専門学校
4. テーマ：概要編
5. 参加人数：120名（電気情報工学科3年生、電子制御工学科3年生、生物応用工学科3年生）
6. 内 容：

四国会所属の相原正会員が講師として登壇しセミナーが始まりました。知財支援センターのテキスト「特許エンターテインメントセミナー概要編」に沿った内容でした。最近の事例を具体例として用いたり、積極的に生徒に質問したりするなど工夫が見られ、とても聞きやすいものでした。



知的財産支援センター第3事業部 佐久間顕治

「高専セミナー」津山工業高等専門学校

1. 日 時：令和6年6月21日 金曜日 13時00分～14時30分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：津山工業高等専門学校
4. テーマ：概要編
5. 参加人数：44名（5年生）
6. 内 容：

津山工業高等専門学校の総合理工学科機械システム系5年生44名に対して、高専セミナー・概要編を対面形式で実施しました。正講師は松成靖典会員が担当しました。セミナー資料は日本弁理士会作成の「特許エンターテインメントセミナー概要編」を使用しました。「特許権」の内容を中心に説明しつつ、意匠権、商標権、著作権等にも言及し、丁寧な説明で解りやすいセミナーでした。



知的財産支援センター第3事業部 野呂亮仁

「高専セミナー」津山工業高等専門学校

1. 日 時：令和6年7月3日 水曜日 14時40分～16時15分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：津山工業高等専門学校
4. テーマ：権利行使編
5. 参加人数：29名（専攻科1,2年生, 教職員1名含）
6. 内 容：

津山工業高等専門学校の専攻科1,2年生29名に対して、高専セミナー・権利行使編を対面形式で実施しました。正講師は船曳崇章会員が担当しました。セミナー資料は日本弁理士会作成の「高専セミナー権利行使編」を使用し80分の講義が実施されました。また、学校からの要望により、15分の技術者倫理に関する講義も行いました。丁寧な説明で解りやすいセミナーであり、「どう思いますか？」の学生が考えるパートでは、講師と学生とが一緒になって考えるという場面もあり、知的財産に対する理解がより深まったセミナーでした。

講義の最後に、専門外分野の依頼があった場合の対応について質問がなされ、講師からは、弁理士として幅広い技術分野に対応できるように研鑽しています。自己で対応できない技術分野については、専門の弁理士に協力いただく等の対応も行っていると回答されました。



知的財産支援センター第3事業部 増田佳文

「高専セミナー」舞鶴工業高等専門学校

1. 日 時：令和6年7月17日 水曜日 14時45分～16時15分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：舞鶴工業高等専門学校
4. テーマ：概要編
5. 参加人数：100名強
6. 内 容：

舞鶴高専にて、主講師 竹口美穂会員により、概要編を実施いたしました。

竹口会員は、優しい語り口調で学生に質問をしながらご説明されていきました。学生の中には竹口会員の質問に対し積極的に手を挙げて回答される方がおり、また、ロボコン出場経験のある学生はテキスト内の車に変形するロボットについて考えを述べるなど、双方向やり取りがある講義が展開されました。



知的財産支援センター第3事業部 城田晴栄

「高専セミナー」熊本高等専門学校

1. 日 時：令和6年7月19日 金曜日 14時40分～16時10分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：熊本高等専門学校（八代キャンパス）
4. テーマ：演習編
5. 参加人数：約100名
6. 内 容：

正講師を丹生哲治会員、補助講師を西本泰造会員、増田佳文会員、岡村祥有会員が担当しました。高専側は、生物化学システム工学科の二見能資准教授と事務の方々のご対応くださいました。

演習編（発明トレーニング）の講義及び演習を、機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科、生物化学システム工学科の3年生に対して行いました。90分の授業のうち、前半30分で課題、発明の本質、発明の効果等の講義を行い、後半60分で演習を2題行いました。演習テーマは、それぞれ、“歩きスマホ防止”、“SNS安全利用”でした。演習テーマごとに、学生による検討に15分、学生による発表及び講師の講評に15分の時間を割り当てました。具体的に、3つの学生のグループに手書きの資料を用意して発表してもらい、1つの発表が終わるごとに、丹生哲治会員が講評を行いました。

最後に、授業時間を10分ほどオーバーしましたが、弁理士の仕事はどのような仕事か？仕事をする時にどのような点に気をつけているのか？事前に二見能資准教授が学生から集めてくださった質問に、補助講師が回答をしました。



知的財産支援センター第3事業部 岡村祥有

「高専セミナー」大島商船高等専門学校

1. 日 時：令和6年7月22日 月曜日 14時30分～16時00分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：大島商船高等専門学校
4. テーマ：概要編
5. 参加人数：23名
6. 内 容：

大島商船高等専門学校にて、専攻科1,2年生の学生を対象に、木村正彦会員による知財セミナーが対面形式で実施されました。日本弁理士会作成の「特許エンターテインメントセミナー概要編」を用いて講義が行われました。比較的少人数での講義だったこともあり、学生たちは静かに集中して受講していました。



知的財産支援センター第3事業部 野崎洋平

「高専セミナー」弓削商船高等専門学校

1. 日 時：令和6年7月25日 木曜日 15時00分～16時30分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：弓削商船高等専門学校
4. テーマ：概要編
5. 参加人数：118名（3年生）
6. 内 容：

中国会所属の壬生優子会員が講師として登壇しセミナーが始まりました。知財支援センターのテキスト「特許エンターテインメントセミナー概要編」に沿った内容でした。聞き取りやすい優しい口調による落ち着いた進行が印象的でした。クイズでは、一部の学生が手によるジェスチャーで○×を表現するなど、積極的に講義を聞く姿勢が見られました。



知的財産支援センター第3事業部 瀧川彰人

「高専セミナー」 苫小牧工業高等専門学校

1. 日 時：令和6年7月26日 金曜日 10時40分～12時10分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：苫小牧工業高等専門学校
4. テーマ：演習（発明トレーニング）
5. 参加人数：15名（生徒14名、教職員1名）
6. 内 容：

苫小牧工業高等専門学校にて、5年生を対象に、主講師大窪智行会員・補助講師松村直輝会員・補助講師安永喜勝会員による高専セミナー演習編（発明トレーニング）が実施されました。セミナーでは、発明の本質を説明する座学の後、大窪智行会員が地域特有の課題に基づいて考案した題材「鉄道車両の鹿や熊との接触を防止するための発明」をグループワークで検討して発表する演習を行った。



知的財産支援センター第3事業部 安永喜勝

「高専セミナー」鳥羽商船高等専門学校

1. 日 時：令和6年7月31日 水曜日 15時00分～16時30分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：鳥羽商船高等専門学校
4. テーマ：概要編
5. 参加人数：商船学科、情報機械システム工学科3年生 約100名
6. 内 容：

鳥羽商船工業高等専門学校にて高専セミナー・概要編を、坂岡 範穂会員が主講師で実施しました。セミナーは「特許エンターテインメントセミナー概要編」に沿った内容で行われました。また、クイズでは、全員から手が上がり、当てられた学生等が積極的に答えていました。さらに、セミナー終了後の質問コーナーでも、学生から色々と積極的な質問がありました。

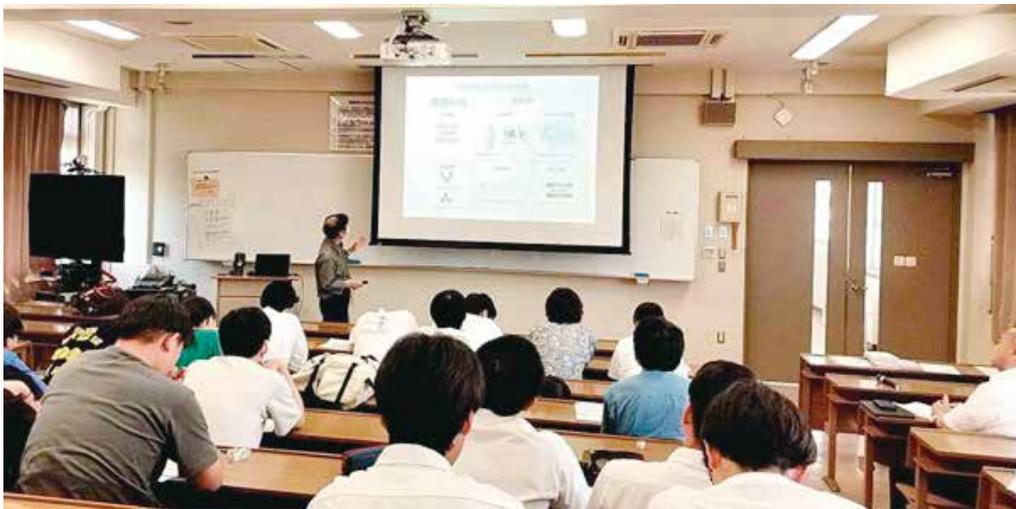


知的財産支援センター第3事業部 丹生哲治

「高専セミナー」呉工業高等専門学校

1. 日 時：令和6年8月8日 木曜日 12時50分～14時20分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：呉工業高等専門学校
4. テーマ：概要編
5. 参加人数：26名
6. 内 容：

中国会所属の保坂幸男会員が講師として登壇しセミナーが始まりました。テキストは支援センターの「特許エンターテインメントセミナー概要編」でしたが、要所々々に的確なコメントが追加されているなど、学生の理解を助ける工夫がなされたものでした。具体例を用いた解説では、受講生に馴染みのある“地元”密着の事例・話題を用いることが多く、地元での活動が長い会員ならではの配慮が感じられました。本編終了後、いくつかの質問・回答の時点でちょうど時間となりました。



知的財産支援センター第3事業部 西山忠克

「高専セミナー」香川高等専門学校

1. 日 時：令和6年9月25日 水曜日 14時30分～16時00分
2. 主催者：国立高等専門学校機構、日本弁理士会
3. 場 所：香川高等専門学校（高松キャンパス）
4. テーマ：概要編
5. 参加人数：80名
6. 内 容：

香川高等専門学校（高松キャンパス）の3年生を対象に、阿出川会員による知財セミナー・概要編がオンラインで実施されました。日本弁理士会作成のスライドに沿って、初学者でも理解しやすいように、丁寧に講義が行われました。寸劇部分（パテントフォーマー物語）については、学生役のセリフも、弁理士役のセリフにうまく取り込んで、講師が一人で実施しました。オンライン講義なので画面越しではありましたが、クイズでは、受講生を指名して回答してもらい、一方的な講義にならないように工夫されておりました。



知的財産支援センター第3事業部 佐久間顕治

3

支援活動一覧表 (10月分)

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
北海道	24.10.25	道内教育機関における 知財人材育成事業	太田悠	北海道文教大学付属高校	講演
青森	24.10.09	日本弁理士会特許商標無料相談会	三浦誠一	青森商工会議所	相談
青森	24.10.23	第 66 回青森県発明くふう展	角田世治	青森県共同ビル	その他
岩手	24.10.03	第 60 回岩手県発明くふう展	野崎俊剛	岩手県工業技術センター	その他
岩手	24.10.09	日本弁理士会特許商標無料相談会	船越巧子	盛岡商工会議所	相談
岩手	24.10.26	第 60 回岩手県発明くふう展	野崎俊剛	岩手県工業技術センター	その他
宮城	24.10.09	日本弁理士会特許商標無料相談会	若山剛	気仙沼商工会議所	相談
宮城	24.10.11	第 37 回みやぎ発明くふう展	藤田正広	東京エレクトロンホール	その他
秋田	24.10.07	日本弁理士会特許商標無料相談会	熊谷繁	大曲商工会議所	相談
秋田	24.10.22	第 73 回秋田県発明展	熊谷祐	道の駅あきた港 ポートタワー・セリオン	その他
秋田	24.10.27	第 73 回秋田県発明展	熊谷繁	道の駅あきた港 ポートタワー・セリオン	その他
山形	24.10.19	さがえ少年少女発明クラブでの 知財授業	佐藤司 阿部博孝	旧幸生小学校	講演
山形	24.10.23	第 59 回山形県発明くふう展	佐藤司	INPEX 酒田アリーナ (酒田市 国体記念体育館) 小アリーナ	その他
山形	24.10.27	第 59 回山形県発明くふう展	黒沼吉行	東北公益文科大学 公益ホール	その他
福島	24.10.12	第 76 回郡山市発明工夫展表彰式	水野博文	郡山市役所	その他
福島	24.10.23	第 70 回福島県発明展	若山剛	郡山市労働福祉会館	その他
福島	24.10.27	第 70 回福島県発明展	水野博文	郡山市労働福祉会館	その他
千葉	24.10.02	佐倉商工会議所相談員派遣	渡邊芳則	佐倉商工会議所 2 階会議室	相談
千葉	24.10.02	令和 6 年度千葉県児童生徒・教職員 科学作品展審査会	日向麻里 金子彩子	千葉県総合教育センター	その他
千葉	24.10.03	総合科学特論 [実践で使える知的財産権]	山川啓	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演
千葉	24.10.10	総合科学特論 [実践で使える知的財産権]	山川啓	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演
千葉	24.10.10	千葉信用金庫 「お客様と金融職員が [ともに歩む] 勉強会」	田久保泰夫	千葉信用金庫本店 7 階ホール	講演
千葉	24.10.10	千葉信用金庫 「お客様と金融職員が [ともに歩む] 勉強会」	大槻昇 小川一 角田朗 亀山夏樹 西山彰人 古城真一	千葉信用金庫本店 7 階ホール	講演
千葉	24.10.12	千葉市科学フェスタ 2024	千葉委員会	Qiball (きぼーる)	講演
千葉	24.10.17	船橋商工会議所相談員派遣	横井堅太郎	船橋商工会議所 304 号室	相談
千葉	24.10.17	総合科学特論 [実践で使える知的財産権]	金子彩子	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演
千葉	24.10.22	2024 年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ)	山川啓	東葛テクノプラザ	相談
千葉	24.10.24	総合科学特論 [実践で使える知的財産権]	金子彩子	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演
千葉	24.10.31	総合科学特論 [実践で使える知的財産権]	高田大輔	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
東京	24.10.01	東京農工大学 農学部 【知的財産権・特許法】	須藤修三 留場恒光 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
東京	24.10.01	東京商工会議所千代田支部 セミナー講師派遣	太田洋子	オンライン	講演
東京	24.10.05	第 5 回暮らしと事業の無料相談会 in 杉並	留場恒光	杉並区立産業商工会館 展示場	相談
東京	24.10.08	東京農工大学 農学部 【知的財産権・特許法】	須藤修三 留場恒光 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
東京	24.10.10	2024 年度東京商工会議所専門相談員	伊藤夏香	東京商工会議所中小企業相談 センター	相談
東京	24.10.10	2024 年度知財無料相談会 (町田)	後藤仁志	町田新産業創造センター又は オンライン	相談
東京	24.10.15	2024 年度東京商工会議所文京支部 専門相談員	鈴木康介	東京商工会議所文京支部	相談
東京	24.10.15	2024 年度多摩地域無料知的財産相談会	森山朗	たましん事業支援センター (Win センター) 又はオンライン	相談
東京	24.10.15	東京農工大学 農学部 【知的財産権・特許法】	須藤修三 留場恒光 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
東京	24.10.16	知財サロン	中小企業・スタート アップ支援委員会 委員	弁理士会館 1 階	講演
東京	24.10.22	東京農工大学 農学部 【知的財産権・特許法】	須藤修三 留場恒光 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
東京	24.10.25	2024 年度下期 BusiNest 無料知的財産相談会	徳本浩一	BusiNest 内会議室 又はオンライン	相談
東京	24.10.26	第 10 回府中市事業と暮らしの 無料相談会	東京委員会委員	ルミエール府中市市民会館	相談
東京	24.10.29	東京農工大学 農学部 【知的財産権・特許法】	須藤修三 留場恒光 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
神奈川	24.10.11	神奈川県立川崎図書館 令和 6 年度知的財産相談事業	三宅康雅	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	相談
神奈川	24.10.25	神奈川県立川崎図書館 令和 6 年度知的財産相談事業	金子正彦	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	相談
山梨	24.10.08	令和 6 年度弁理士による 特許無料相談会 (富士吉田)	深澤潔	富士吉田商工会議所 2 階会議室	相談
新潟	24.10.09	第 88 回新潟県発明工夫展・ 第 73 回新潟県模型展 審査会	黒田勇治	新潟県立自然科学館	その他
新潟	24.10.19	北陸巡回パネル展	北陸会所属弁理士	新潟県立自然科学館 特別展示室	その他
新潟	24.10.19	第 88 回新潟県発明工夫展・ 第 73 回新潟県模型展 表彰式	黒田勇治	新潟県立自然科学館	その他
富山	24.10.18	第 62 回富山県発明とくふう展 審査会	細川健人	富山市民プラザ	その他
石川	24.10.16	第 60 回石川県発明くふう展 (第 40 回 石川県科学の夢絵画展) 審査会	村田健誠	石川県地場産業振興センター	その他
石川	24.10.26	第 60 回石川県発明くふう展 (第 40 回 石川県科学の夢絵画展) 表彰式	村田健誠	石川県地場産業振興センター	その他
福井	24.10.02	第 36 回福井県発明くふう展・第 33 回 福井県未来の科学の夢絵画展 審査会	愛宕淳一	福井県工業技術センター	その他
福井	24.10.19	合同無料相談会	愛宕淳一	福井商工会議所 B1F 国際ホール	相談
長野	24.10.11	地域知財経営支援ネットワーク事業「よ ろず支援拠点、長野県産業振興機構、 商工会議所、及び INPIT 長野県知財総 合支援窓口 合同研修会」	長野県地区会運営 委員	長野県工業技術センター	その他
長野	24.10.26	長野県発明くふう展	國井久美子	長野市ビックハット	その他
岐阜	24.10.02	NOBUNAGA キャピタルビレッジ 職員向け「知的財産について」セミナー 及び座談会	廣江政典 和気光	NOBUNAGA キャピタルビレッジ	講演
岐阜	24.10.09	岐阜県発明くふう展 (学生の部)	加藤肇	マーサ 21	その他

2. 支援活動一覧表 (10月分)

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
岐阜	24.10.10	岐阜県発明くふう展(一般の部・女性の部)	山田強	マーサ 21	その他
岐阜	24.10.14	岐阜県発明くふう展(学生の部)	岡本茂樹	マーサ 21	その他
岐阜	24.10.15	岐阜県発明くふう展(一般の部・女性の部)	吉安裕史	マーサ 21	その他
静岡	24.10.04	週末パテントセミナー in 静岡	永田由美 坂野史子	静岡労政会館	講演
静岡	24.10.11	週末パテントセミナー in 静岡	長谷部善太郎	静岡労政会館	講演
静岡	24.10.17	静岡県学生児童発明くふう展	絹川将史	静岡県産業経済会館	その他
静岡	24.10.18	週末パテントセミナー in 浜松	長谷部善太郎	アクトシティ浜松 研修交流センター	講演
静岡	24.10.25	週末パテントセミナー in 浜松	神谷直慈 居藤湖都	アクトシティ浜松 研修交流センター	講演
静岡	24.10.25	静岡県立富士宮北高等学校における 知財授業「知財の基本知識とノースンの活用について」	吉田信彦	静岡県立富士宮北高等学校	講演
静岡	24.10.25	日本弁理士会と独立行政法人 国立高等専門学校機構との「知的財産教育の充実及び知的財産活用のための協力に関する協定」に基づく沼津工業高等専門学校での知財授業	藤田早百合 高田珠美 山本竜也 阿出川豊 浅田信二 竹村恵一	沼津工業高等専門学校	講演
愛知	24.10.03	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程-知的財産権入門-」	竹村恵一	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
愛知	24.10.10	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程-知的財産権入門-」	榊原毅	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
愛知	24.10.17	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程-知的財産権入門-」	榊原靖	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
愛知	24.10.19	休日パテントセミナー in 名古屋	佐野朋子 松浦弘	名古屋商工会議所 3F 第5会議室	講演
愛知	24.10.24	愛知県図書館主催 「創業支援知財活用セミナー」	熊崎誠	愛知県図書館	講演
愛知	24.10.24	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程-知的財産権入門-」	藤田早百合	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
愛知	24.10.25	あいち少年少女創意くふう展	榊原毅	産業技術記念館	その他
愛知	24.10.31	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程-知的財産権入門-」	教育機関支援機構 運営委員	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
三重	24.10.03	三重県発明くふう展(学生)	小林宣延	津リージョンプラザ	その他
三重	24.10.05	三重県発明くふう展工作教室	小林宣延 伊藤寿浩 和気光 坂岡範穂 牧内直征	津リージョンプラザ	その他
京都	24.10.02	第48回京都府小・中・高校 創造性コンクール 審査会	鎌田雅元	京都リサーチパーク	その他
京都	24.10.15	令和6年度知財基礎講座「商標入門」	福田光起	オンライン	講演
京都	24.10.22	知的財産特別授業	鎌田雅元 大濱徹	京都市立御室小学校	講演
京都	24.10.26	第48回京都府小・中・高校 創造性コンクール 表彰式	鎌田雅元	京都リサーチパーク	その他
京都	24.10.29	令和6年度知財基礎講座「著作権入門」	前田治子	オンライン	講演
大阪	24.10.02	第53回大阪府生徒児童発明くふう展 審査委員会	松田淳一	ATC エイジレスセンター	その他

2. 支援活動一覧表 (10月分)

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
大阪	24.10.03	知的財産特別授業	飯田淳也 鈴木武	泉南市立東小学校	講演
大阪	24.10.11	知的財産特別授業	古田昌稔 植本隆在	大阪市立西天満小学校	講演
大阪	24.10.16～ 24.10.17	大阪勤業展 2024	知財普及・支援 委員会委員	マイドームおおさか	その他
大阪	24.10.24	知的財産特別授業	小林義周 松井智美	泉大津市立旭小学校	講演
大阪	24.10.27	第53回大阪府生徒児童発明くふう展 表彰式	山本宗雄	ATC エイジレスセンター	その他
兵庫	24.10.02	知的財産特別授業	吉永元貴 中村忠則	宝塚市立西谷中学校	講演
兵庫	24.10.04	知的財産特別授業	山田淳一 柳瀬智之	明石市立藤江小学校	講演
兵庫	24.10.18	知的財産特別授業	寺園佳江 榎本啓介	西宮市立瓦木小学校	講演
兵庫	24.10.22	令和6年度兵庫県学生児童発明くふう展 審査会	小林恵	バンドー神戸青少年科学館	その他
兵庫	24.10.28	知的財産特別授業	柳瀬智之 鈴木武	洲本市立安乎小学校	講演
奈良	24.10.18	第81回奈良県児童・生徒発明くふう展 審査会	門田康	イオンモール大和郡山	その他
奈良	24.10.19	知的財産講座 「商標出願の概要 —あなたも商標出願 にチャレンジしませんか—」	門田康	奈良県立図書館情報館	講演
和歌山	24.10.22	知的財産特別授業	大野義也 東山香織	和歌山市立野崎西小学校	講演
和歌山	24.10.24	第39回和歌山市民 発明くふうコンクール 審査会	向林伸啓	和歌山城ホール	その他
和歌山	24.10.27	第39回和歌山市民 発明くふうコンクール 表彰式	向林伸啓	和歌山城ホール	その他
鳥取	24.10.21	第66回鳥取県発明くふう展	中西康裕	(地独)鳥取県産業技術センター 大会議室	その他
島根	24.10.08	知財に関するワークショップ	中井正樹	松江市内	講演
島根	24.10.17	第27回島根県学生児童発明くふう展	中井正樹	松江市内	その他
岡山	24.10.25	知的財産授業	船曳崇章	津山工業高等専門学校	講演
広島	24.10.22	知財マネジメントにかかるセミナー	田村善光	中国経産局会議室	講演
山口	24.10.28	知的財産授業	木村正彦	大島商船高等専門学校	講演
山口	24.10.29	知財マネジメントにかかるセミナー	松成靖典	柳井商工会議所	講演
香川	24.10.04	第80回香川の発明くふう展	山内伸	香川産業頭脳化センタービル 2F一般研修室	その他
香川	24.10.10	かがわ知財経営塾	松島理	香川産業頭脳化センタービル 2F一般研修室	講演
愛媛	24.10.11	高専セミナー (後期)	日野和将	新居浜高専	講演
愛媛	10月頃	高校生向け知的財産セミナー	相原正	愛媛県立宇和島水産高校	講演
愛媛	10月頃	高校生向け知的財産セミナー	相原正	愛媛県立宇和島東高校	講演
高知	10月頃	知的財産セミナー (強みの見える化×知財)	中越貴宣	高知県工業技術センター & オンライン	講演

長野県・日本弁理士会との知的財産支援協定に基づく
地域知財経営支援ネットワーク事業
週末パテントセミナー2024 in長野

ー知財は特許だけじゃないー

もっと意匠権・商標権を活用してビジネスを差別化し、
そして意匠権・商標権を使った税関による取締りを学ぼう！

我社の新製品、特許出願を検討中……実は、意匠や商標を活用すればもっとビジネスを差別化できます！意匠権や商標権を活用して競争力を高めましょう。

本講演では、ヒット商品の事例を紹介しながら実践的な活用法を解説します。

さらに、模倣品から貴社を守るための裁判以外の手段、特に税関の利用についても紹介します。

本年度から週末開催となり参加しやすくなりました。特許以外の知財活用に関心のある方、自社ブランドを守りたい方、ぜひご参加ください。

■日 時 令和6年10月31日（木）15時～16時40分（受付開始 14時30分）

■会 場 長野市生涯学習センター 3階 第1・第2学習室 ※裏面地図参照
（長野県長野市鶴賀1271-3 TOiGO WEST 電話：026-233-8080）

■内 容

（第一部）「ヒット商品から見る意匠・商標の活用事例と

ネット販売における模倣品への対策」＜15時05分～15時40分＞

講師：日本弁理士会東海会 長野県地区会 地区副会長 弁理士 竹内 康司 氏

（第二部）「税関における商標権、意匠権などの取締」＜15時40分～16時30分＞

講師：名古屋税関 業務部 知的財産調査官 三枝 達也 氏

■定 員 60名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

■主 催 長野県 日本弁理士会東海会（運営：日本弁理士会東海会 長野県地区会）
一般社団法人長野県発明協会（INPIT長野県知財総合支援窓口）

■後 援 関東経済産業局（予定） 一般社団法人長野県経営者協会
長野県中小企業団体中央会 一般社団法人長野県商工会議所連合会
長野県商工会連合会

■参加費 無料

■対 象 スタートアップ企業の経営者の方々、個人事業主の方々、新商品・新サービス展開を目指す方々、公共・公益団体等の方々、金融関係者、中小企業の経営者、知的財産関係者、学生、一般市民の方々

○ パテント【patent】とは、特許及び特許権のことです。

○ 知的財産（知財）権とは、特許権、実用新案権、意匠権及び商標権の総称である工業所有権（産業財産権）に著作権等を含めた総称です。

○ 会場は室温調整が十分に出来ないこともありますので、衣服等で調整できるようにご準備ください。

○ 諸事情により中止する場合は弊会ホームページで案内いたします。



TOKAI BRANCH OF JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION

JPAA 日本弁理士会 東海会

＜申込方法・申込書・は裏面に掲載＞

申込方法及び問合せ・申込先

◆お申し込み方法

聴講のお申し込みは、以下二次元バーコード又は郵便、ファクシミリ（下記申込書に所定事項をご記入の上、本状を送付してください）にて下記までお申し込みください。またメールでのお申し込みの場合は、申込書の所定事項を必ずご明記の上、下記メールアドレスまでお申し込みください。

なお誠に勝手ながら、参加可否のご連絡につきましては、**参加不可の場合のみ**ご連絡を差し上げます。あらかじめご了承ください。

◆締切 令和6年10月28日（月）

◆お申し込み・お問い合わせ先

日本弁理士会東海会

〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル8階

TEL.052-211-3110 FAX.052-220-4005

e-mail:info-tokai@jpaa.or.jp web: <https://www.jpaa-tokai.jp/>



会場案内図



◆交通案内

JR 長野駅（善光寺口）から徒歩約 10 分

長野電鉄市役所前駅から徒歩約 5 分

アルピコ交通・長電バス「昭和通り」バス停下車 徒歩約 1 分

◆TOiGO パーキング・利用者の割引について

駐車台数：430 台

駐車料金：1 時間あたり 200 円

（ただし、8 時～24 時までの間は最大 800 円）

割引：TOiGO パーキングを利用された場合、本セミナーにご参加された方は、生涯学習センター受付にて最大 200 円までの割引が受けられますので、駐車券は会場までお持ちください。

◆注意事項

会場内での飲食は禁止されています。飲食はお控えください。

ただし、ペットボトルなどの蓋付きの容器に入ったものは持ち込み可能です。

日本弁理士会東海会 行（FAX052-220-4005）

<週末パテントセミナー2024 in 長野 参加申込書>

フリガナ	
氏名	
連絡先	〒
	連絡先が勤務先の場合は社名・所属名・役職をご記入ください。
電話：	E-Mail：

※ いただきました個人情報は、本セミナーを円滑に実施するために必要な範囲に限って利用します。また当会からのイベント情報の提供に利用させていただきますことあります。



地域知財経営支援ネットワーク事業
日本弁理士会東海会主催
無料市民講座
弁理士による

参加
無料

週末パテントセミナー2024 in 静岡

浜松会場・静岡会場

知的財産により中小、スタートアップ企業のフロンティアをサポートする

日本弁理士会東海会では、中小・ベンチャー企業関係者及び一般の方々を対象に、特許、意匠、商標を中心とする知的財産全般について、専門家である弁理士がテーマごとにわかりやすく解説する市民講座を開催します。奮ってご参加ください。

■第1回

会場	開催日	テーマ	講師
浜松	令和6年 9月27日(金)	著作権・商標の予防法務と侵害対応	弁理士 永田 由美(著作権) 弁護士・弁理士 坂野 史子(商標権)
静岡	令和6年10月 4日(金)		
業種を問わず、現代の企業の殆どが関わっている知的財産権が「商標権」「著作権」です。知らず知らずのうちに「権利侵害」を引き起こしてしまわないために、押さえておきたい知識と対応策について解説します。			

■第2回

回数	開催日	テーマ	講師
浜松	令和6年10月18日(金)	特許手続きにおける拒絶理由対応 -審査官の思考を理解した対策-	弁理士 (元特許庁審査官) 長谷部 善太郎
静岡	令和6年10月11日(金)		
特許庁からの拒絶理由通知をクリアして、安定した特許権を取得しましょう。特許審査では、90%以上の割合で、拒絶理由通知が出ます。特許権を取得するのは拒絶理由に対して、明細書の補正や意見を申し立てる必要があります。審査官の思考を理解すると、有効な拒絶理由対策の検討できます。拒絶理由の構成と審査官の考え方を紹介し、その対応策の立て方をご紹介します。			

■第3回

回数	開催日	テーマ	講師
浜松	令和6年10月25日(金)	どうする特許担当!? ~特許担当になっちゃった編~	弁理士 居藤 湖都 神谷 直慈
静岡	令和6年11月 1日(金)		
「今度、会社が特許を取るから担当お願いね。」「特許庁からの書類、お願いできる?」と突然『特許(知財)担当』になってしまった皆様「知財の担当者って何?一体どうすればいいの!」と思われているかと思います。本講座では、そんな皆様に向けて知財とは、知財の注意点・ToDo、弁理士の見つけ方など知財のハウツーを新商品開発・新規事業立ち上げの流れに沿って分かりやすく解説致します。中小企業・スタートアップ・ベンチャーの皆様、必聴です!			

<浜松会場>アクトシティ浜松<Dゾーン>研修交流センター 51研修交流室

(浜松市中区板屋町111-1)

<静岡会場>静岡労政会館 展示室+第3会議室(静岡市葵区黒金町5-1)

<対象>一般、県および市町村の公的機関の関係者、中小企業の経営者、知財関係者など(定員40名)

<時間>18:30~20:30(受付開始18:00)

<参加費>無料

<主催>日本弁理士会東海会<運営 日本弁理士会東海会静岡県地区会>

<後援>関東経済産業局 (一社)静岡県商工会議所連合会
(一社)静岡県発明協会<INPIT 静岡県知財総合支援窓口>
(公財)浜松地域イノベーション推進機構(浜松会場のみ)



○パテント【patent】とは、特許及び特許権のことです。

○知的財産(知財)権とは、特許権、実用新案権、意匠権及び商標権の総称である工業所有権(産業財産権)に著作権等を含めた総称です。

○会場は室温調整が十分に出来ないこともありますので、衣服等で調整できるようにご準備ください。

○諸事情により中止する場合は弊会ホームページで案内いたします。



TOKAI BRANCH OF JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION

日本弁理士会 東海会

<会場地図・申込方法・申込書は裏面に掲載>

申込方法

受講のお申込みは、表裏面に記載の2次元バーコード又は郵便、ファクシミリ（下記申込書に所定事項をご記入の上本状を送付してください）にて**各回開催日の2日前までに**、下記当会までお申し込みください。またメールでのお申込みの場合は、申込書の所定事項を必ずご明記の上、下記メールアドレスまでお申し込みください。
 なお、誠に勝手ながら、定員を超過した場合以外は折り返しご連絡を差し上げませんので、直接会場へお越しください。

問合せ・申込先

日本弁理士会東海会

〒460-0008 名古屋市中区栄 2-10-19
 名古屋商工会議所ビル 8階
 TEL052-211-3110 FAX052-220-4005
 e-mail:info-tokai@jpaa.or.jp
 http://www.jpaa-tokai.jp/

「弁理士」とは

弁理士は、知的財産の専門家として、特許（実用新案）、意匠、商標、国際商標、著作権、不正競争等に関する事項を幅広く取り扱っています。特許権や商標権等の権利取得のための出願代理や審判・訴訟代理、また特許権等の侵害訴訟における訴訟代理人又は補佐人、さらに税関での侵害品の輸入差止め代理などを行います。その他、知的財産に関する鑑定、相談、契約の代理、仲裁代理など、知的財産の創成、保護、活用に関する業務を行っています。

「日本弁理士会」及び「日本弁理士会東海会」とは

日本弁理士会は、弁理士法に基づき大正11年に設立された弁理士に関するわが国唯一の法人組織であり、弁理士は、すべて日本弁理士会の会員にならなければなりません。本会は、全国単一の組織ではありますが、弁理士法第58条により、平成9年1月31日に東海地域（愛知・岐阜・三重・静岡・長野県）に日本弁理士会東海支部（東海会）が開設されました。なお、静岡県内に事務所を有する弁理士は111名（令和6年3月31日現在）です。



アクトシティ浜松
 研修交流センター

※各会場とも公共交通機関をご利用ください。

日本弁理士会東海会 事務局 行 (FAX052-220-4005)

「週末パテントセミナーin静岡」参加申込書

(途中回からの申込みも歓迎)



■以下各々参加希望会場の希望回を○でお囲み下さい。

浜松会場	第1回 (9月27日)	第2回 (10月18日)	第3回 (10月25日)
静岡会場	第1回 (10月4日)	第2回 (10月11日)	第3回 (11月1日)

*ご氏名、連絡先（郵便番号、住所、電話・FAX番号）は、セミナーの円滑運営のため、お手数でも正確にご記入下さいませようご協力をお願いします。（いただきました個人情報は、ウィルス感染対策の他、本セミナーを円滑に実施するために必要な範囲に限り利用します。また当会からのイベント情報の提供に利用させていただくこともあります。）

フリガナ	
氏名	
連絡先	(〒 -)
	電話 () - FAX () -
	メールアドレス
上記連絡先がお勤め先の場合は以下に社名・部署名をご記入ください。	
職業	■以下該当するものを○でお囲み下さい。 1. 経営者・代表者 2. 勤務者（法務・知財・開発・設計・製造・その他） 3. 士業 4. 学生 5. 主婦・その他

知財経営支援ネットワーク事業

パテントセミナー

2024



今年はリアル会場と
オンライン開催の
2パターン!

はっぴよん©
日本弁理士会
公式マスコットキャラクター

- 特許庁、INPIT、日本商工会議所、日本弁理士会の4者は「知財経営支援ネットワーク構築への共同宣言」を行いました。(令和5年3月24日)本セミナーは、関西地域における「知財経営支援ネットワーク事業」として開催いたします。
- 日本弁理士会関西会設立40周年記念事業として開催いたします。

日本弁理士会関西会は、知的創造活動の普及と促進の一環として、一般の方々に広く知的財産権を理解していただけるよう弁理士等の専門家がわかりやすく説明する、知的財産権に関するセミナーを開催します。



申込ページ

リアル会場はこちら

大阪会場(日本弁理士会関西会) MAP 1

第1回 11/2(土) 10:00~11:40
キャラクタービジネスと商標権・著作権
講師: 弁理士・米國弁護士(カリフォルニア州) 柴田 純一郎

第2回 11/2(土) 14:00~15:40
ダイキン工業の知財取組み
~クリエイティブな知的財産部を目指して~
講師: 弁理士 安部 剛夫

京都会場(京都リサーチパーク) MAP 2

第3回 11/9(土) 10:00~11:40
権利化・係争対応だけじゃない! 企業知財部の
提供価値 ~島津製作所 知財部の取り組み~
講師: 弁理士 渡辺 由佳子

第4回 11/9(土) 14:00~15:40
創業387年、酒を科学して快を創る、
月桂冠の酒造りと知的財産
講師: 弁理士 石田 博樹

滋賀会場(コラボしが21) MAP 3

第5回 11/16(土) 10:00~11:40
審決を通して見た商標法の登録要件
講師: 弁理士 真柴 俊一郎

第6回 11/16(土) 14:00~15:40
再生医療等製品に係る薬事関連法と特許権存続
期間延長登録制度、及びその経済的効果
講師: 弁理士 前田 直

兵庫会場(スペースアルファ三宮) MAP 4

第7回 11/23(土) 10:00~11:40
中小企業のための知財戦略
講師: 弁理士 野呂 亮仁

第8回 11/23(土) 14:00~15:40
知的財産関連契約条項:
レビューにおける実践知 ~留意点と勘所~
講師: 弁護士・弁理士 矢倉 雄太

オンラインはこちら

オンライン(Zoomウェビナー)

第9回 11/30(土) 10:00~11:40
AI特許権利化の勘所
講師: 弁理士 河野 英仁

第10回 11/30(土) 14:00~15:40
中国・米国・欧州商標制度の基本
講師: 弁理士 徳永 弥生

第11回 12/7(土) 10:00~11:40
特許・実用新案入門
講師: 弁理士 萩森 学

第12回 12/7(土) 14:00~15:40
これで大丈夫、自社の意匠のこと
商標のこと
講師: 弁理士 謝 博超

主催: 日本弁理士会関西会

後援: 経済産業省 近畿経済産業局、(独)工業所有権情報・研修館 近畿統括本部、
(独)中小企業基盤整備機構 近畿本部、(公財)大阪産業局、大津商工会議所、
京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所

リアル会場

MAP

① 大阪会場 (日本弁理士会関西会)

定員:140名

回数	開催日時	テーマ・内容	講師
第1回	11/2(土) 10:00~11:40	キャラクタービジネスと商標権・著作権 昨今ではキャラクターを使って消費者により親近感を持ってもらう施策が身近になってきました。このセミナーでは、商標権・著作権の解説を通じて、キャラクター開発・利用の勘所をお話します。	弁理士・ 米国弁護士 (カリフォルニア州) 柴田 純一郎
第2回	11/2(土) 14:00~15:40	ダイキン工業の知財取組み ～クリエイティブな知的財産部を目指して～ 「知財の守り方や使い方をもっとクリエイティブにデザインすれば、今まで以上に大きな価値を生むのではないか」そんな思いの下、ダイキン工業では既存の枠にとらわれない知財取組に挑戦しています。これら取組について説明します。	弁理士 安部 剛夫

MAP

② 京都会場 (京都リサーチパーク)

定員:120名

回数	開催日時	テーマ・内容	講師
第3回	11/9(土) 10:00~11:40	権利化・係争対応だけじゃない! 企業知財部の提供価値 ～島津製作所 知財部の取組み～ 当社知財部は、「新事業創出と事業継続を支援する」をミッションに掲げ日々活動しています。本セミナーでは、ミッション遂行に資する多様な取組みについて具体的にご紹介します。	弁理士 渡辺 由佳子
第4回	11/9(土) 14:00~15:40	創業387年、酒を科学して快を創る、月桂冠の酒造りと知的財産 月桂冠は1637年創業、1909年(明治42年)清酒メーカー初の研究所を設立。防腐剤いらずの瓶詰清酒、カプロン酸エチル高生産酵母、糖質ゼロ清酒、桃の香りの清酒など業界初の技術確立しました。酒造りを科学し、同時に身の丈に合った特許、ノウハウ管理に試行錯誤した経験をご紹介します。	弁理士 石田 博樹

MAP

③ 滋賀会場 (コラボしが21)

定員:45名

回数	開催日時	テーマ・内容	講師
第5回	11/16(土) 10:00~11:40	審決を通して見た商標法の登録要件 本セミナーは、審判の審決を検討することによって、特許庁が商標の登録要件をどのように解釈しているのかについて検討し、出願及び審査対応に対する有益な情報を提供することを目的とします。	弁理士 真柴 俊一郎
第6回	11/16(土) 14:00~15:40	再生医療等製品に係る薬事関連法と特許権存続期間延長登録制度、及びその経済的効果 再生医療等製品を医薬品医療機器等法で定義した理由について、薬事関連法及び特許権の存続期間の延長登録制度から読み解くと共に、具体的に各再生医療等製品の薬価に基づき延長登録制度による経済的効果を比較し説明します。	弁理士 前田 直

パテントセミナー2024

MAP

④ 兵庫会場 (スペースアルファ三宮)

定員:120名

回数	開催日時	テーマ・内容	講師
第7回	11/23(土) 10:00~11:40	中小企業のための知財戦略 経営資源が限られる中小企業・ベンチャー企業こそ知財戦略が重要です。事業を守り、拡大することを目的とした知財戦略について、講師の経験を交えて説明します。	弁理士 野呂 亮仁
第8回	11/23(土) 14:00~15:40	知的財産関連契約条項:レビューにおける実践知 ~留意点と勘所~ 知的財産が絡む契約条項のレビューでは、知的財産の基礎的な知識はもちろん、紛争リスク等を意識することも重要です。本セミナーでは、知的財産が関連する契約条項レビュー時の留意点と勘所について解説します。	弁護士・弁理士 矢倉 雄太

オンライン開催

オンライン (Zoomウェビナー)

定員:500名

回数	開催日時	テーマ・内容	講師
第9回	11/30(土) 10:00~11:40	AI特許権利化の勘所 本セミナーでは生成AIを中心とした最新AI動向を解説すると共に、具体的なAI特許・ビジネス事例を通じて企業の競争力を高めるためにどのような観点からAI技術・ソリューションを特許化していくかの勘所を解説します。	弁理士 河野 英仁
第10回	11/30(土) 14:00~15:40	中国・米国・欧州商標制度の基本 日本から出願することの多い中国、米国、欧州の商標制度の基本について、実務情報も交えて解説します。直接出願とマドプロのどちらを選択すべきかについてもご紹介します。	弁理士 徳永 弥生
第11回	12/7(土) 10:00~11:40	特許・実用新案入門 特許及び実用新案制度を紹介し、発明や考案を効果的に保護するにはどうしたらよいか、出願から特許取得あるいは実用新案登録までの流れ、権利行使の仕方等について、初心者の方にもわかりやすく解説します。	弁理士 萩森 学
第12回	12/7(土) 14:00~15:40	これで大丈夫、自社の意匠のこと商標のこと 安心してデザインやブランド名をビジネスに使い、且つパクリに対抗するための権利を取得するための手続、権利の活用方法などを法律用語をできるだけ使わずに実例を交えて説明します。一般の方に意匠と商標に関して当事者意識を持ってもらうことを目標とします。	弁理士 謝 博超

会場MAP

MAP 1 大阪会場
(日本弁理士会関西会)




大阪市北区梅田
3-3-20 明治安田生命
大阪梅田ビル25階

最寄駅
JR環状線・京都線・神戸線「大阪駅」より徒歩10分
大阪メトロ四ツ橋線「西梅田駅」より徒歩8分・御堂筋線「梅田駅」より徒歩10分
阪神線「大阪梅田駅」より徒歩10分

※ 地下道からお越しの方は
OsakaGardenCity 番号「6-30」を目印にお越しください

MAP 2 京都会場
(京都リサーチパーク)




京都市下京区
中堂寺栗田町93
4号館2階

KRP西地区 ルーム1

最寄駅
JR山陰本線「丹波口駅」より徒歩5分

MAP 3 滋賀会場
(コラボしが21)




大津市打出浜2-1

最寄駅
京阪電鉄「石場駅」より徒歩3分

MAP 4 兵庫会場
(スペースアルファ三宮)




神戸市中央区
三宮町1-9-1
三宮センタープラザ東館6F

最寄駅
JR「三宮駅」、阪急阪神「神戸三宮駅」より徒歩約5分
地下鉄・ポートライナー「三宮駅」より徒歩約7分

④ **対象** どなたでもご参加可能です。

④ **参加費** 無料

④ **申込方法** 日本弁理士会関西会ホームページ (<https://www.kjpaa.jp/>) より講座ごとに事前申込制。(先着順)

④ **問い合わせ先**
日本弁理士会関西会 TEL:06-6453-8200 <https://www.kjpaa.jp/>

※ オンラインセミナーに関する技術的なお問合せには一切回答出来ません。



日本弁理士会関西会
ホームページ

《会場でのセミナーにおける注意事項》

- お申込み後は、直接会場にお越しください。● 定員となり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。● 会場へのお問い合わせはご遠慮ください。
- 地震、台風等の自然災害が発生した場合には、予告なく開催を中止することがございます。

《オンラインセミナーにおける注意事項》

- 本セミナーの録画、録音等は禁止します。● 本セミナーの参加には、受講者の責任において、参加に必要なコンピュータ、利用環境、通信機器、通信回線その他設備を保持し、設定および管理するものとします。
- 本セミナーは、Zoomウェビナーを利用してインターネットで配信するため、ご利用されるデバイス、インターネットの通信状況等により、参加できない場合があります。その場合、主催者は責任を負いません。
- 本セミナーの動画や音声等すべての知的財産権は講演者とその所属先及び当会に帰属します。
- 私的利用など一定の範囲以外の目的で著作権者の許諾を得ずに複製、公衆送信等を行うことは著作権法などの法律により著作権侵害や著作隣接権侵害などの違法行為となります。
- 本セミナーで利用するウェブサービス (Zoomサービス等) の規約に違反する行為は禁止いたします。
- 講師が体調不良となった場合には、中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

《個人情報の取り扱いについて》

ご登録いただいた個人情報は日本弁理士会の個人情報保護方針 (<https://www.jpaa.or.jp/privacy/>) に基づき、適切に管理いたします。

● 個人情報 (個人データ) の利用目的

お申込みの際にご登録いただいた個人情報は、本イベントの申込管理や運営、本イベントに関する通知、連絡及び統計資料管理のために利用させていただきます。なお、法令に定める場合を除き、これら以外の目的のための利用または第三者提供はいたしません。

常設知的財産相談室(無料)

※すべて予約制です。

東海会



052-211-3110

URL : <https://www.jpaa-tokai.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 13:00～16:00

北海道会



011-736-9331

URL : <https://jpaa-hokkaido.jp/>

相談時間 :

毎週火曜日・金曜日 / 14:00～16:00

関西会



06-6453-8200

URL : <https://www.kjpaa.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 10:00～12:00、

14:00～16:00

東北会



022-215-5477

URL : <https://www.jpaa-tohoku.jp/>

相談時間 : 毎週火曜日 / 13:00～16:00

中国会



082-224-3944

URL : <https://www.jpaa-chugoku.jp/>

相談時間 : 毎週水曜日 / 13:00～15:00

北陸会



076-266-0617

URL : <https://www.jpaa-hokuriku.jp/>

相談時間 :

※相談日はホームページをご覧ください。

四国会



087-822-9310

URL : <https://jpaa-shikoku.jp/>

相談時間 :

※相談日はホームページをご覧ください。

関東会



03-3519-2707

URL : <https://www.jpaa-kanto.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 10:00～12:00、

14:00～16:00

九州会



092-415-1139

URL : <https://www.jpaa-kyusyu.jp/>

相談時間 : 毎週木曜日 / 10:00～12:00、

13:00～15:00

中小企業の知財を活かして成長を支援します！

【弁理士知財キャラバン】のご紹介

知財を経営に活かすコンサルティングスキルをもった弁理士が最大3回訪問して、共に課題を解決し業績アップを目指します。

●Point!

- ・費用は無料(日本弁理士会が負担します)。
- ・これまで150社以上の中小企業に対して支援を実施しています。



詳細はコチラ>



問い合わせ先: 日本弁理士会 弁理士知財キャラバン 担当
E-mail: caravan@jpaa.or.jp

<https://www.jpaa.or.jp/activity/caravan>

お問い合わせやご送付先に変更がございました場合には 日本弁理士会 経営・支援室まで

電話 : 03-3519-2709 (直) FAX : 03-3519-2706

MAIL : shien@jpaa.or.jp

URL : https://www.jpaa.or.jp/support_activity/